



社員が打合せや作業等で使用するフリースペース



代表取締役社長 浅田 潤 様

会社概要

- 本社所在地:〒140-0001 東京都品川区北品川3-3-5 北品川御殿山ビル2F~5F
- 従業員数:351名
- 事業内容:マニュアル製作、翻訳、システム開発、デザイン、コンテンツ制作、ドキュメント制作支援システム、XML制作等
- URL:http://www.yamagata-intech.jp/

要な資料を電子化してクラウドに上げ、社外でもスムーズに仕事を進めています。制作業務で取り扱うデータはテクニカルなものが中心で守秘義務があり、ISMS<sup>\*3</sup>を取得し、社内ですぐに準じた運用を行い、セキュリティを担保しています。テレワークでは部署によりパソコンの持ち出し等細かな規制の制定が必要なため、現在業務の切り分けや選定、フローの見直し等を行っています。モデル実証事業後に社員も含めレビューを行いました。最大の目的である生産性の向上以外にも「本当に今日は良い仕事できた」「帰社しなくてもサテライトオフィスで仕事ができるのは便利」「仕事の仕方が色々選べる」等のポジティブなフィードバックを受けました。自宅やサテライトオフィスでは、決めた業務に集中して取り組むことができ、効率も上がる一方、他の社員とのコミュニケーションはWeb会議やチャットツール等、クラウド管理システム<sup>\*1</sup>を使い、情報をリアルタイムで取ることができています。

モデル実証を終えて  
まずはアクセプトしていく、  
経営側の意識改革を

働き方改革として、色々なことを連動して変える必要があると感じています。部下をどう管理・評価するか、何時にどこで何をした等をチェックするマイクロマネジメントでは対応できません。1ヵ月1回のレビューミーティングや進捗会議を基本に、事業計画の目標を管理し、定期的に面談してKPIの測定をしていく。成果だけでなく性格や周囲との協調性等のバランスを見るのも必要と考え、能力と人格をバランスよく伸ばすための社内セミナーも行っています。何かを変える時は、トップが意識改革を迫られます。社長として、私が心掛けているのはアクセプトすること。ポジティブな方向性で、まずは受け入れることを意識し、大切にしています。

経営課題

生産性向上とブランド力強化のため働き方改革の必要性

経営側から意識改革を進めると同時に、サテライトオフィスの積極活用、Web会議を活用した人材確保も実施

働き方改革の一つとして  
テレワーク体制を整える

当社は、技術関連に特化した印刷物を手掛けるYAMAGATA株式会社のドキュメント制作部門として、1983年に設立しました。機械や自動車、通信機器やコンピュータ等の取扱説明書・マニュアル等の制作に加え、70年代に日本企業の海外進出による多言語化のニーズから翻訳・ローカライズも担当。さらにITやデバイスの発展・拡大で技術関連の資料のアプリ化や動画制作、それに関連したWebやシステム開発、広告や宣伝媒体の制作、UI(ユーザーインターフェース)のデザイン等、業務が拡大・多様化しています。当社では以前より翻訳・システム開発を担当する社員が、出産・育児、介護により遠隔地での在宅勤務を行っています。今後より多くの社員が長く快適に勤務できるよう、テレワークを働き方のオプションとして体制を整えたいと考えています。また社員へのテレワークという働き方の啓蒙という意味も含め、今回のモデル実証事業に参加しました。



作業にも休憩にも利用できるフリースペースのカウンター

業務での活用以外に、Web会議による  
一次面接等、様々なシーンで活用

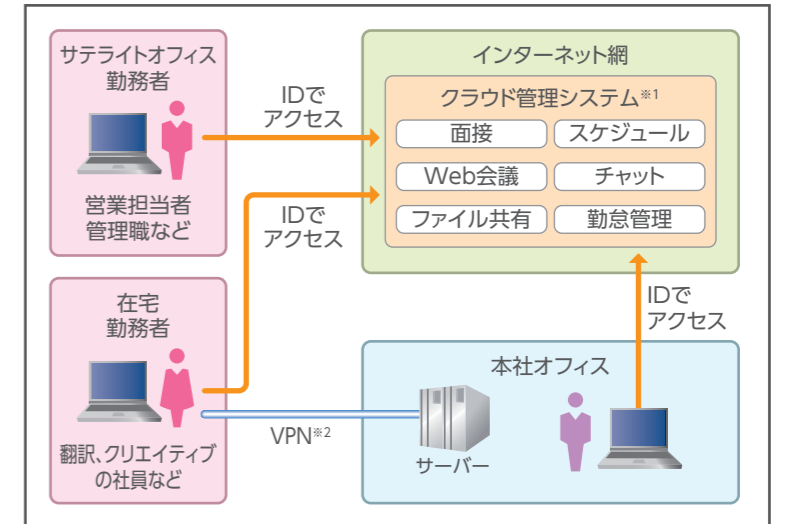
今回は2017年11月から9名がテレワークを実施。内訳は、翻訳業務5名、人事・営業等の社員4名です。都心や郊外で数十拠点のサテライトオフィスを展開している事業者と契約し、外出が多い社員に、顧客訪問の際の空き時間や帰宅途中等に積極的に活用することを促しました。一度会社に戻らなくても業務が効率的に実施できると好評でした。さらに、スマートフォンによる勤怠システムを導入し、管理側が勤務状況をリアルタイムに把握して負荷の多い社員をサポートします。また、クラウド管理システム<sup>\*1</sup>も導入しました。テレワーク時は会社貸与のノートパソコンを使用し、IDでクラウド管理システム<sup>\*1</sup>に入り、以前よりあるVPN<sup>\*2</sup>を経由して社内LANにアクセス、部署によってはインターネット経由で直接アクセスする場合があります。Web会議は海外の社員も含めた役員会でも利用しています。また、地方拠点の採用面接にもWeb会議を活用しており、一次面接を人事部にて遠隔で行っています。応募された面接者は、こうした面接手法に様に驚いており、ブランド力の強化につながったと実感しています。二次面接では直接会うようにしていますが、一次面接としては移動時間や経費の削減にもつながりました。

紙の書類による業務が多い人事の社員はあらかじめ必

解決ポイント



Web会議を活用した一次面接の様子



経営課題

- 業務の効率化としてテレワーク導入と活用
- 採用の強化を含めたブランド力の強化

導入概要

- 制作業務・人事・営業部門から9名を選
- スマートフォンによる勤怠とクラウド管理システム<sup>\*1</sup>を導入
- 制作業務は在宅勤務に限定、その他の社員はサテライトオフィス勤務もできる制度整備
- Web会議を一次面接にも活用

導入効果

- サテライトオフィスの利用で効率的に業務を行うことができ、利便性を実感
- 採用面における効率化とブランド力強化が実現

モデル実証企業からのアドバイス



- ◆働き方が選べるというオプション  
社員の働き方の選択肢として、テレワークがあることが会社として重要です。ライフステージに変化があっても、どこでも、いつでも働けることをオプションとして提供できれば、社員が長く働く条件の一つになると感じます。
- ◆経営側から意識改革を  
テレワークのプラス要素として、業務の効率化、社員満足や人材確保、リクルート時の差別化や対外的アピールポイント等があります。経営側が意識を改め、テレワーク導入を前向きに検討することが大事です。

■クラウドとは：インターネット上にデータを保存する使い方、サービスのこと。  
 ※1 クラウド管理システム：クラウドで提供される業務管理サービスやチャットサービスなどの総称。  
 ※2 VPN：仮想的な専用線(Virtual Private Network)の略。共有ネットワーク上にプライベートネットワークを構築すること、またはその技術。  
 ※3 ISMS：情報セキュリティマネジメント(Information Security Management System)の略。企業・組織(企業、部、課など)における情報セキュリティを運用・管理するための仕組みのこと。国際的な規格としてISO/IEC27001として標準化されている。